

# 紙 風 船



## 新年明けましておめでとうございます

令和4年が明け、早3週間が過ぎようとしています。今年度も後期後半、締めくくりの時期を迎えます。14日から始まった後期後半は、少々風邪気味の子どももいるのですが、元気にスタートすることができました。全校集会では1年生のU.Sさん、4年生のS.Mさんが楽しかった冬休みのことと後期後半にがんばりたいことをお話してくれました。印象的なことに、二人とも「4月には立派な2年生に……」「5年生になるので……」ということを最後に話していました。子どもたちはもう次のステップを見越しているのだと思うと、こちらも気持ちを引き締めていかないと……、と思われました。



二人の発表の様子から (ランチルームにて)

子どもたちにはたくましく、しなり強くこの時代を生き抜く力を身に付けてほしいと願っています。また、その力を身に付けることを導く学校でありたいと取り組んでいます。そういう意味で考えると、「トライ」の方がよりの確だという思いを強くしました。失敗したらやり直せばいい、繰り返し取り組む強さをもちたいと思うのです。本年もよろしく願いいたします。

年も新たになったところで、後期後半に向かう子どもたちには、引き続きいろいろなことに挑戦してほしいことをお話しました。今まではよく「チャレンジ」しようと声をかけていましたが、寅年にかけて、「トライ」の年と言い換えました。「チャレンジ」と「トライ」はどう違うのか……。気になったので調べてみると、次のようがありました。

**チャレンジ:** いどむこと。戦いをしかけること。  
たちむかうこと。

**トライ:** こころみること。ためしにやってみること。  
よし悪しなどを調べてみること。  
(こころみるは「心+見る」から)

## 子どもサミット～Semboku City ジュニア未来会議～ 1月11日

仙北市の小・中学校の代表が集まり子どもサミットが開かれました。本校からは6年生 O.Hさん、K.Sさんが参加しました。話し合いは地区ごとに中学生と一緒にいわれ、今回は地域学校協働活動推進員の方も加わりました。

話題は「仙北っ子の約束」「SDGs」について、さらに浸透させていくために小・中が一緒にできることは何だろうか、ということと、「地域活性化」のために子どもの立場からできることはどんなことだろうか、ということでした。具体的な取組内容については、今後代表委員会などから働きかけがあると思います。また、田口市長の参加もあり、仙北市の子どもたちがどんなことを考えているのか興味深く聞き入っていました。



### 大曲仙北新年書き初め大会

#### <金賞>

硬筆の部	1年	U.Sさん、	F.Rさん
	2年	S.Sさん、	S.Oさん
毛筆の部	4年	A.Sさん、	I.Mさん
		A.Sさん、	M.Fさん

おめでとうございます！

感謝！！

スキー学習、スキー教室へのご協力を  
よろしく申し上げます。

1 / 19 (3・4年生) ・ 21 (5・6年生)  
26 (上学年) ・ 28 (下学年)

<ほんのささいなつばやき> by yonezawa

雪国の子ども、雪とたわむれる。瞳キラキラ、体生き生き。